

落語と生きる

「笑い」は、生きとし生けるものの中で唯一人間に与えられた贈りもの……。この日本には、伝統芸能「落語」という世界で生きる人達がいる。「カゼ(扇子)」と「マンダラ(手ぬぐい)」だけを手に、定席をはじめ全国の高座に上がり続けお客を魅了して止まない。日々の修行は決して感じさせない粋な生き方。上智大学でスペイン語を学びながら22歳でこの「落語」の世界に飛び込んだ……。



さんゆうてい ぼ
●出演：三遊亭とん馬 (落語家)

「とん馬」は落語界に伝わる名跡で、当代は三代目。落語芸術協会所属(現会長は、桂歌丸)。三遊亭遊三(芸術協会理事)に入門。前座名は遊ぼう。その後二つ目に昇進し、遊福と改名する。1994年に真打に昇進、三代目とん馬を襲名する。笑点の小遊三は兄弟子にあたる。
 伝統を守る正統派。「住吉踊り」の伝承にもつとめ「踊る落語家」の異名も。その個性的な風貌と癒し系のキャラで人気。日本に誇りを持ちながらスペイン人とスペイン語を愛する、スペイン語・英語・中国語を操るちょっと不思議な落語家でもある。
<https://ameblo.jp/tomba3ut/>
 また、落語芸術協会の師匠プロフィール紹介では、「英語小噺・中国語小噺承ります」とのコメントがある。
<http://www.geikyo.com/index.php>



地球と生きる

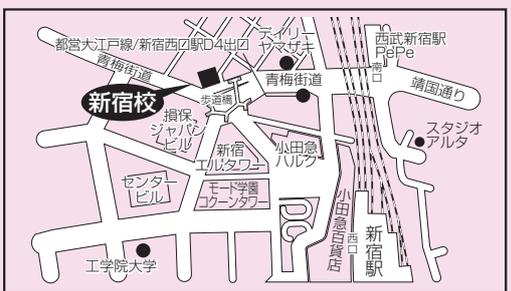
「噺家」の道とは？ ひとりの人生に触れ、ひとつの生き方から何かを探りたい。夏を迎える一区切りのひととき。つかの間でもいい……何もかも忘れて、ともに感動し、そして笑いませんか？

●司会：貴川 美雨 (古文科講師)

7月11日(水) 17:00~18:30
 新宿校 502教室

入場無料
 申込不要

〒160-0023 新宿区西新宿 7-12-1
 ☎0120-198-520
 ●JR・小田急線・京王線・東京メトロ丸ノ内線・都営新宿線 / 新宿駅西口より徒歩3分
 ●都営大江戸線 / 新宿西口駅 D4 出口より徒歩1分
 ●西武新宿線 / 西武新宿駅南口より徒歩3分



※どなたでも自由に参加できます。